

複式学級の現状と今後の予測（令和3年11月1日現在の住民基本台帳から推計）

令和3年11月1日現在の住民基本台帳を基に推計した児童生徒数から、小学校については、令和4年度以降令和9年度までの学級数を想定し複式学級について予測したものです。中学校については、令和15年度までの学級数を想定し複式学級を予測しています。

なお、令和3年度は令和3年5月1日現在の複式学級数となります。

小学校では、令和3年度17校のうち、複式学級がある小学校は6校（7学級）ですが、令和9年度には9校（19学級）に増加する見込です。

中学校では、令和3年度は、7校のうち、複式学級がある学校はありませんが、令和14年度から1校（1学級）で複式学級となることが見込まれています。

・小学校

学 校 名	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
第一小学校							
第二小学校							
松山小学校							
上三宮小学校	2	2	2	2	2	3	2
第三小学校							1
関柴小学校							
熊倉小学校							
豊川小学校							
慶徳小学校	1	2	1	2	2	2	3
熱塩小学校	1	2	1	2	2	3	3
加納小学校	1	1	1	2	2	3	2
堂島小学校				1	1	2	2
塩川小学校							
姥堂小学校	1	2	2	1	2	1	2
駒形小学校	1	1	1	1	1		1
山都小学校							
高郷小学校			1	1	1	2	3

・中学校

(単位：人)

学 校 名	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
第一中学校													
第二中学校													
第三中学校													
会北中学校													
塩川中学校													
山都中学校													
高郷中学校												1	1

※ グレーの網掛けが複式学級を示し、その数字は複式学級の数を表しています。

また、枠が太線となっている箇所については、複式のみの3学級であることを示しています。

※「令和3年度学級編制の基準」に基づき作成しています。（令和2年12月18日福島県教育委員会）